

銘柄コード:2669



カネ美食品株式会社

2018年3月期 第2四半期 決算説明会

本資料に記載されている今後の業績見通し及び各情報などは、現段階における入手可能な事項と、当社が十分合理的であると判断した事項に限って記載を致しております。

今後起こり得る各要因によって、当社の今期計画の予定及び業績が著しく異なってくる可能性も有り得ますので、その点を踏まえてのご参考資料として頂ければ幸いです。



【本資料に関するお問合せ先】

カネ美食品株式会社 総務部TEL (052)879-6113(直)

E-mail: soumu-ir@kanemi-foods.co.jp

URL: <http://www.kanemi-foods.co.jp>

テナント事業

- ・スーパーマーケットを中心に、百貨店や駅ナカなどへ出店
- ・東海地方を中心に関東、関西に店舗展開
- ・地域や周辺環境に合わせ、柔軟な対応ができるよう様々な業態やブランドを展開

【出店先】

■スーパーマーケット	256 店舗
ユニー(アピタ・ピアゴ)	240 店舗
その他(アオキスーパー、オオゼキ等)	16 店舗
■百貨店・駅ナカ・駅ビル等	30 店舗
百貨店	12 店舗
駅ナカ・駅ビル	15 店舗
その他(商業施設等)	3 店舗
■外食店舗	3 店舗
寿司御殿	3 店舗



アピタ金沢文庫店



eashion nonowa国立店

外販事業

- ・東海地方を中心に関東、関西等に16工場を配置
- ・コンビニエンスストアへ納品する弁当・おにぎり・パスタ等を製造
- ・鉄道会社が運営するコンビニエンスストアへ納品する弁当・おにぎり等を製造
- ・地域の生活協同組合から、主に夕食宅配弁当の製造を受託

【納品先】

■コンビニエンスストア

ファミリーマート 9,740 店舗
サークルK、サンクス

■鉄道系コンビニエンスストア

NewDays、KIOSK(JR東日本リテールネット) 611 店舗

■宅配関連

コープみらい、おおさかパルコープ、コープあいち 等 全8カ所の生活協同組合



コンビニエンスストア



NewDays

**2018年3月期 第2四半期
決算概況**

業績の状況

(単位:百万円)

	2017年3月期 第2四半期		2018年3月期 第2四半期		
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	44,264	100.0	44,514	100.0	100.5
テナント事業	21,961	49.6	21,770	48.9	99.1
外販事業	22,302	50.4	22,744	51.1	101.9
営業利益または 損失(△)	1,564	3.5	△1,057	—	—
経常利益または 損失(△)	1,609	3.6	△1,001	—	—
四半期純利益または 純損失(△)	1,020	2.3	△776	—	—

(注)売上高は各事業のセグメント間の内部売上高を除いて表示しております。

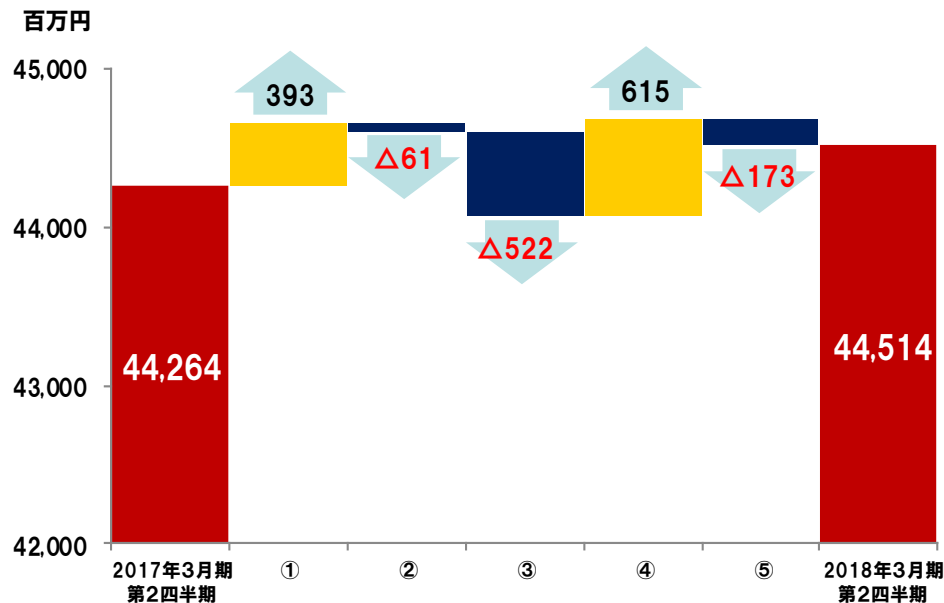
セグメント別の業績の状況

(単位:百万円)

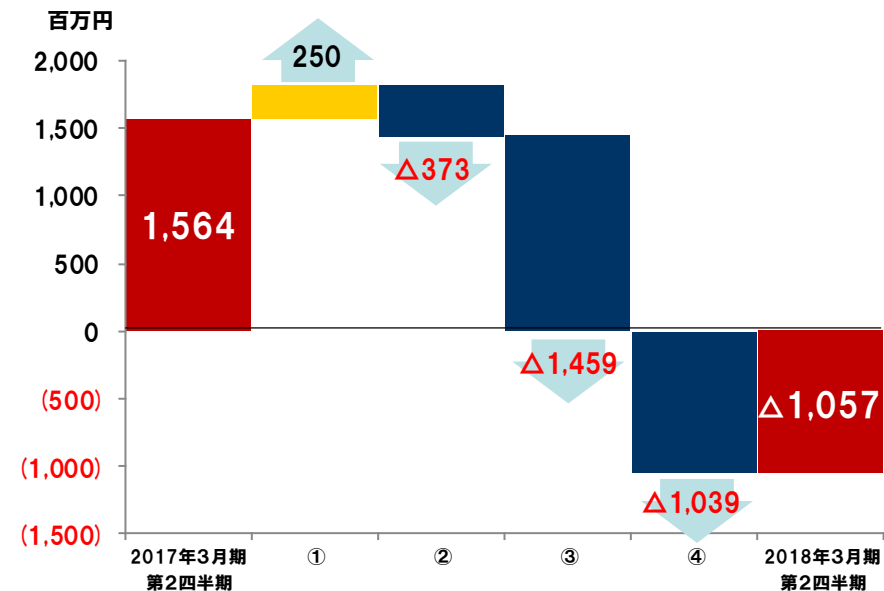
		2017年3月期 第2四半期		2018年3月期 第2四半期		
		実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前期比 (%)
テナント事業	売上高	21,961	100.0	21,770	100.0	99.1
	ユニー店舗	18,501	84.2	18,186	83.5	98.2
	その他店舗	3,460	15.8	3,583	16.5	103.5
	セグメント利益	706	3.2	811	3.7	114.8
外販事業	売上高	22,302	100.0	22,744	100.0	101.9
	ファミリーマート	19,926	89.3	20,541	90.4	103.0
	鉄道系コンビニ	1,149	5.2	1,032	4.5	89.8
	宅配	1,044	4.7	1,032	4.5	98.8
	その他	182	0.8	137	0.6	75.6
	セグメント利益または 損失(△)	858	3.8	△1,868	-	-

売上高と利益の増減要因

売上高



営業利益



2017年3月期 第2四半期	44,264 百万円
①テナント 新設店舗による売上増加	393 百万円
②テナント 既存店舗による売上減少	△61 百万円
③テナント 廃店および一時閉店による売上減少	△522 百万円
④外販 コンビニエンスストア部門の売上増加	615 百万円
⑤外販 その他部門の売上減少	△173 百万円
2018年3月期 第2四半期	44,514 百万円
増減額	250 百万円

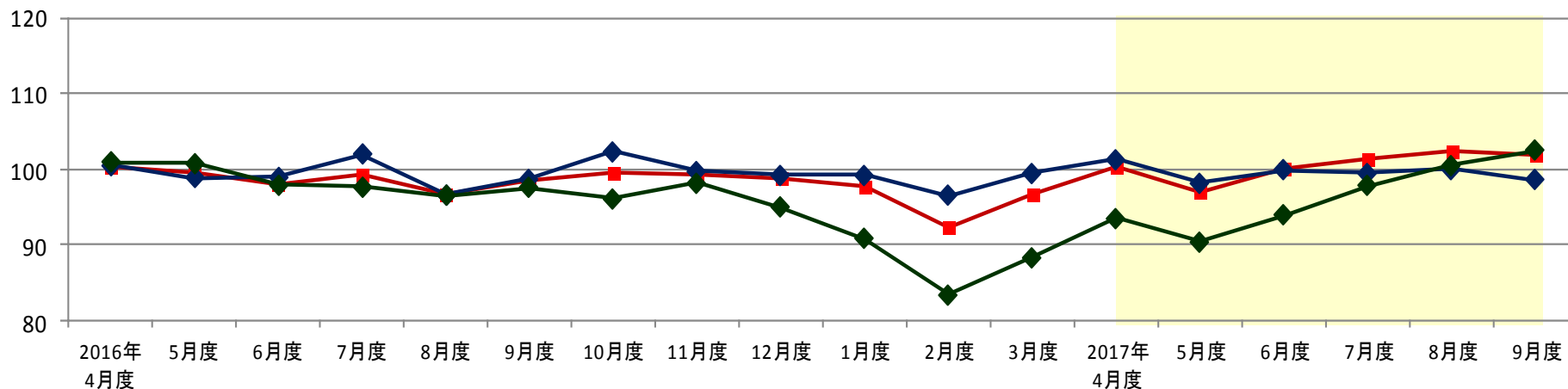
2017年3月期 第2四半期	1,564 百万円
①売上高の増加	250 百万円
②仕入高の増加	△373 百万円
③人件費の増加	△1,459 百万円
④その他経費の増加	△1,039 百万円
2018年3月期 第2四半期	△1,057 百万円
増減額	△2,622 百万円

月次売上高 前年比

		2017年3月期														2018年3月期 第2四半期						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期累計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期累計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期累計
全社合計		100.4	99.6	98.1	99.3	96.6	98.6	98.7	99.6	99.2	98.8	97.8	92.4	96.8	98.1	100.3	97.1	100.0	101.3	102.3	101.9	100.5
テナント事業	合計	99.9	98.3	98.3	101.0	96.7	99.7	98.9	103.3	100.4	99.7	99.8	97.4	100.6	99.5	102.1	98.5	100.6	99.3	98.6	95.5	99.1
	既存合計	100.6	98.8	99.0	102.0	96.7	98.7	99.2	102.4	99.7	99.2	99.3	96.5	99.5	99.3	101.3	98.2	99.9	99.5	100.0	98.6	99.6
	ユニー店舗	100.8	98.6	98.4	101.7	96.1	98.3	98.9	102.5	99.5	99.1	99.1	96.2	99.3	99.1	101.5	98.3	100.2	99.9	100.7	98.7	99.9
	その他店舗	100.0	100.0	102.4	103.7	100.1	100.8	101.1	102.0	100.9	99.9	100.3	98.5	100.5	100.7	100.4	97.6	98.4	97.2	96.1	98.0	98.0
外販事業	合計	100.9	100.8	97.9	97.7	96.5	97.5	98.5	96.2	98.2	97.6	95.5	87.6	93.2	96.6	98.6	95.8	99.4	103.1	106.3	108.1	101.9
	既存合計	100.9	100.8	97.9	97.7	96.5	97.5	98.5	96.1	98.2	95.0	90.8	83.4	88.4	95.3	93.6	90.4	93.9	97.8	100.5	102.5	96.5
	ファミリーマート	102.0	100.5	97.7	98.0	95.9	97.2	98.5	94.8	97.1	97.0	95.6	86.2	92.6	96.2	99.2	96.3	100.4	104.2	107.6	110.4	103.0
	その他	92.9	103.4	99.2	94.9	101.6	100.2	98.8	101.7	107.1	103.5	94.5	98.9	98.3	99.6	93.3	91.5	92.1	93.4	95.4	89.0	92.7

(注) 1. 既存店舗の区分は、開店月より14ヵ月経過した店舗と定義しております。
 2. 上表の累計数値は、会計上の修正額を含めて計算しております。

■ 全社合計 ◆ テナント事業 既存店舗合計 ◆ 外販事業 既存工場合計



貸借対照表、キャッシュ・フローの状況

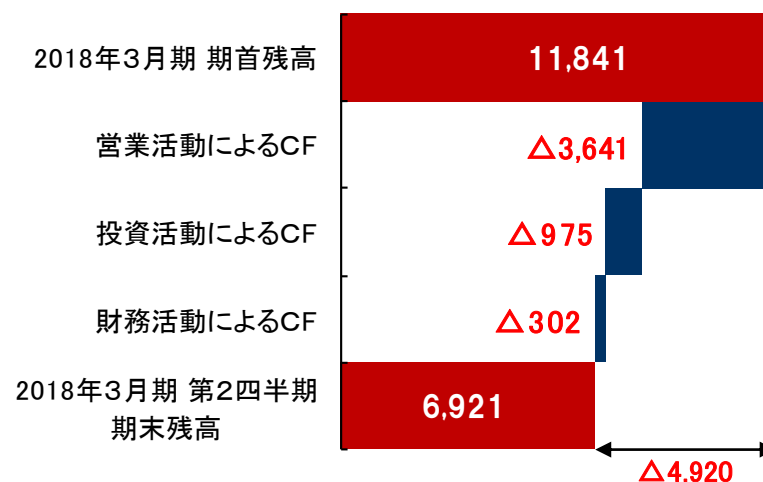
(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	増減
流動資産	18,454	17,267	△1,187
現金及び預金	11,841	6,921	△4,920
売掛金	4,986	9,134	4,147
たな卸資産	488	483	△5
その他	1,136	727	△409
固定資産	16,790	17,818	1,027
有形固定資産	13,523	14,148	625
無形固定資産	113	104	△8
投資その他の資産	3,154	3,565	411
資産合計	35,244	35,085	△159
流動負債	7,950	8,933	982
固定負債	352	188	△163
負債合計	8,303	9,122	819
純資産合計	26,941	25,962	△978
負債・純資産合計	35,244	35,085	△159
自己資本比率(%)	76.4	74.0	△2.4

(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	250	△3,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,552	△975
財務活動によるキャッシュ・フロー	△752	△302
現金及び現金同等物の増減額	△5,054	△4,920
現金及び現金同等物の期首残高	16,895	11,841
現金及び現金同等物の期末残高	11,841	6,921

(単位:百万円)



設備投資

(単位:百万円)

設備投資	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	
	実績	実績	主な設備投資の内容
テナント事業	324	63	新設2店舗、改装1店舗および店舗設備等の更新等
外販事業	4,350	1,172	新工場関連および生産設備の更新、増強等
その他	3	91	設備の更新等
合計	4,678	1,327	

テナント事業(出退店・改装の概要)			2017年3月期	2018年3月期 第2四半期			
業態		ブランド	期末店舗数	出店	退店	改装	期末店舗数
ユニ ー 店 舗	総合惣菜	Kanemi	205	1	8	1	198
	寿司専門	寿司御殿	33	-	1	-	32
	洋風惣菜	K-STAGE(ケイステージ)	10	-	-	-	10
そ の 他 店 舗	総合惣菜	Kanemi	9	-	-	-	9
		e'z mart(イズマート)	5	-	-	-	5
		ease deli(イズデリ)	4	-	-	-	4
	洋風惣菜	eashion(イーション)	29	1	2	-	28
	外食	寿司御殿	3	-	-	-	3
合計			298	2	11	1	289

設備投資：テナント事業(出退店・改装の内容)

出店	日付	業態	店舗名	区分	所在地
	4/5	洋風	eashion シャポー本八幡店	駅ナカ	千葉県市川市
	9/29	総合	納屋橋店	スーパーマーケット	名古屋市中区
退店	日付	業態	店舗名	閉店理由	所在地
	4/9	総合	菱野店	ディベロッパー閉店	愛知県瀬戸市
	6/11	総合	中切店	ディベロッパー閉店	愛知県春日井市
	6/18	総合	アピタ館林店	ディベロッパー閉店	群馬県館林市
	6/25	総合	鹿山店	ディベロッパー閉店	名古屋市緑区
	7/31	洋風	eashion 千葉ペリエ店	ディベロッパー全館改装	千葉市中央区
	8/17	洋風	eashion ビーンズ武蔵浦和店	不採算店舗	さいたま市南区
	8/20	総合	上島店	ディベロッパー閉店	浜松市中区
	8/20	総合	アピタ中津川店	ディベロッパー閉店	岐阜県中津川市
	8/20	寿司	寿司御殿 アピタ中津川店	ディベロッパー閉店	岐阜県中津川市
	8/20	総合	アピタ黒部店	ディベロッパー閉店	富山県黒部市
	8/20	総合	アピタ岩槻店	ディベロッパー閉店	さいたま市岩槻区
改装	日付	業態	店舗名	改装内容	所在地
	4/28	総合	富士中央店	食品売場の改装に伴う 当店改装	静岡県富士市



eashion シャポー本八幡店



納屋橋店

2018年3月期 業績見通し

(単位:百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		
	実績	構成比 (%)	計画 (17年11月9日修正発表)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	88,258	100.0	91,410	100.0	103.5
営業利益または損失(△)	498	0.5	△1,080	—	—
経常利益または損失(△)	582	0.6	△1,000	—	—
当期純利益または 純損失(△)	△514	—	△280	—	—
テナント事業					
売上高	44,768	50.7	44,014	48.2	98.3
セグメント利益	1,639	—	1,755	—	107.1
外販事業					
売上高	43,490	49.3	47,395	51.8	108.9
セグメント利益または 損失(△)	△1,133	—	△2,835	—	—

2018年3月期 設備投資計画

(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	
	実績	通期計画	下期の主な設備投資の内容
テナント事業	324	142	新設5店舗および店舗設備等の更新等
外販事業	4,350	2,375	生産設備の更新および増強等
その他	3	241	設備の更新等
合計	4,678	2,759	

テナント事業 店舗計画			2018年3月期 第2四半期	2018年3月期 下期計画			
業態		ブランド	期末店舗数	出店	退店	改装	期末店舗数
ユニ ー 店 舗	総合惣菜	Kanemi	198	1	4	-	195
	寿司専門	寿司御殿	32	-	-	-	32
	洋風惣菜	K-STAGE(ケイステージ)	10	-	-	-	10
そ の 他 店 舗	総合惣菜	Kanemi	9	1	-	-	10
		e'z mart(イーズマート)	5	-	1	-	4
		ease deli(イーズデリ)	4	-	-	-	4
	寿司専門	寿司御殿	0	1	-	-	1
	洋風惣菜	eashion(イーション)	28	2	-	-	30
	外 食	寿司御殿	3	-	-	-	3
合計			289	5	5	0	289

**2018年3月期 第2四半期
業績総括及び今後の見通し**

○ 全体

- ユニー・ファミリーマートホールディングス(株)の子会社に(7/20付)

○ テナント事業

- 商業施設や百貨店等への出店推進 ⇒ 新規出店 2店舗
- 閉店 11店舗 ⇒ 主に不採算店舗のため、売上高は減少したが利益額は前期を上回る
- 既存店舗の商品力、運営力の精度向上
 - ・ 曜日や時間帯に応じたメリハリのある売場づくり、タイムリーな商品提供
 - ・ 売場の核となる「販売強化商品」の設定および積極的な売り込み

○ 外販事業

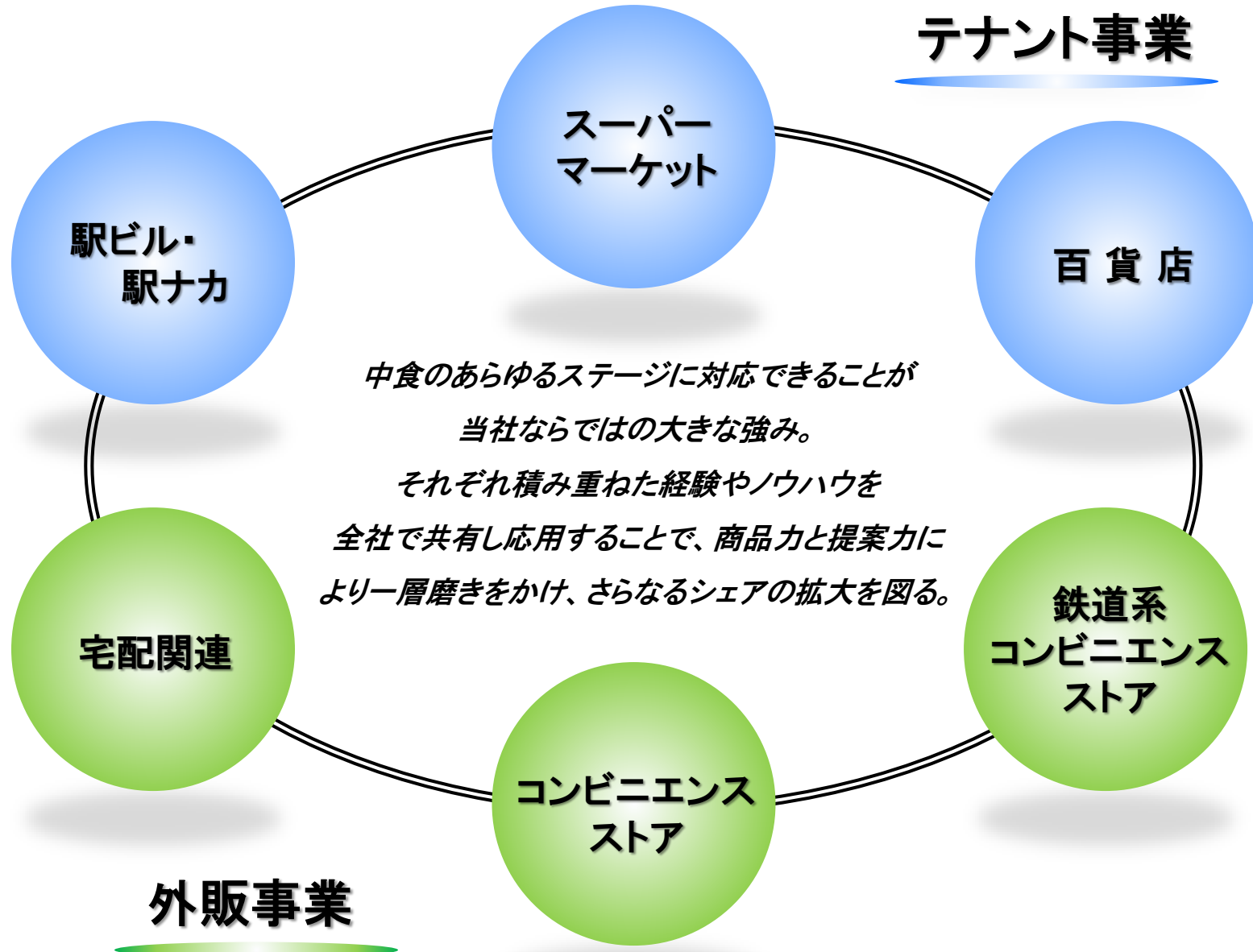
- 売上高の増加と利益面の改善
 - ・ 加盟店からの受注予測の精度向上、人員配置の適正化による製造効率の向上
 - ・ 商品統合当初の混乱回避のために大量投入してきた人材派遣の適正化による人件費の抑制
 - ・ 調理パンやサラダに使用する野菜の自社加工による荒利率の改善
- ⇒ 着実に改善はしているものの、当初工場ごとに計画した売上高が確保できず、経費水準が高止まり
- 継続的な品質の見直し
 - ・ 炊飯の品質向上 ⇒ 社内に専属担当者を選任し、組合の専門チームとともに全工場の品質確認および改良
 - ・ 前期末に導入した炙り焼成機を活用したメニュー展開による食味の向上

○ テナント事業

- 新規出店の推進
 - ・ 関東圏を中心とした駅ナカ、駅ビル等への出店に向けた積極的なアプローチ
 - ・ ユニー店舗の「ドン・キホーテ」転換への対応 ⇒ 店内調理にこだわった味の追求と幅広い価格帯の展開
⇒ 必要不可欠な存在となるための運営力強化
- 継続的な品質の向上、販売力および接客サービスの強化による既存店舗のさらなるレベルアップ
 - ・ 毎週末、販売強化商品・販売数量を設定し徹底的に売り込む ⇒ 店舗規模に応じた細やかな取組へと進化

○ 外販事業

- 売上高の確保および利益面の改善
 - ・ 工場ごとの生産体制の均一化や省人化による製造効率の向上 ⇒ 労務費の抑制
 - ・ 工場ごとの製造品目の見直し ⇒ 利益率の高い商品の獲得を目指す
- 上尾工場(埼玉県上尾市)を11/26より稼働し、生産体制を強化
 - ・ 「生協向け弁当」や「鉄道系コンビニ向け調理パン」の製造を上尾工場に集約
⇒ 既存工場の生産効率向上により、利益の改善と売上高のさらなる獲得が可能に
- 継続的な品質の向上
 - ・ 当社の培ってきたノウハウを活かした独自商品や、世界観のある米飯売場の提案
 - ・ 定番商品の確立(唐揚弁当、炒飯、手巻寿司、おむすび)



ご参考: 中食市場について

国内の中食(惣菜)市場規模は10兆円

中食市場は、これまで少子高齢化や核家族の進行、女性の社会進出などによるライフスタイルの変化により規模を拡大。

一方、成長性が見込まれるため、中食ベンダー・食品メーカー・SM等の参入増加により、競争環境が厳しさを増している。

当社は、この国内の中食市場内におけるシェアの拡大を図り、企業価値の向上を目指す。

求められているもの

日常性

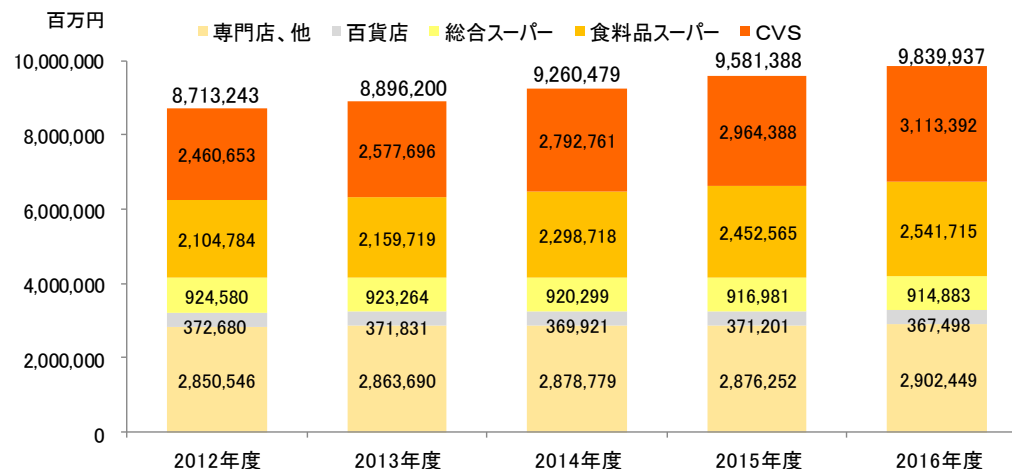
- 安心安全 → 品質管理、衛生管理
- おいしさ → 地域の自然の恵み(地産地消)
季節の恵み
鮮度
カロリーや栄養コントロール
- 手軽さ → 簡単調理
価格・ボリューム

非日常性

- 高付加価値商品 → デザイン性・ブランド力等
珍しい食材・高級食材
豊富なメニュー

【参考資料: 惣菜市場規模】

出所: 社団法人日本惣菜協会 2017年版惣菜白書



※ 専門店: 惣菜専門店(惣菜販売店、持ち帰り弁当店、仕出し弁当店、給食業者、駅弁売店、寿司販売店、おにぎり販売店、調理パン小売業(サンドイッチ、ハンバーガー等)、ピザ小売業(持ち帰り)など)、イートインコーナー併設惣菜店、受注後調理型惣菜店など

【参考資料: 年間の1世帯当たりの品目別支出平均金額(総世帯)】

出所: 総務省統計データ
(品目分類)第10表 年間収入五分位階級別1世帯当たり 品目別支出金額及び購入頻度(総世帯)

